

【 会員投稿 】

私の会長のとき

伊沢昭一郎

小生が斎藤前会長から、菱の実会会長職を引き継いだのは、早いものでもう約10年前、平成12年のことです。菱の実会の会長は 初代:大竹照雄さん、二代目:日比野秀雄さん、三代目:近藤真澄さん、四代目:斎藤慶蔵さんで、小生で五代目でした。

平成12年という、小渕前首相の急逝に伴い、森内閣が誕生しているがこの内閣は何故だか妙に評判が悪くて(理由は忘れた)、翌年には小泉内閣が発足した。「聖域なき構造改革」を旗印にしたこの内閣は以後5年半も続き、近頃めずらしがられているのは、ご存知の通りである。又、後年この頃の景気を「いざなぎ景気」(昭和40年～昭和45年)の後の好景気として、『いざなぎ景気』(平成14～平成19)と呼ばれ好景気の最長記録をつくった。ただこの好景気は、長かったものの成長率は2%前後と伸び悩み、賃金の上昇率も頭打ちで、景気がいいという実感は乏しかったと言われている。

国際的には平成13年、即ち21世紀の始まりに、アメリカにおいて、同時多発テロが発生し、その後アフガニスタンへの報復攻撃、平成15年イラク戦争勃発等、世界には暗い影が覆い始めた。

しかしながら、国内的に安定した景気の影響を受けてか、群馬菱の実会の運営はすこぶる順調であった。

会員数は12年4月現在約200名から、16年4月約300名へと100名ほど増加し、「定年退職者福祉基金」のおかげで、財務状況も豊かであった。事務的に於いても岩松元市議(当時町議)が経理・会報の取りまとめを、公務の傍ら担当して戴いて、大変助かった。その間、会の趨勢はパソコン・麻雀・ゴルフ等の愛好会がスタートし、従来のカラオケ・グランドゴルフ等の活動も活発であり、親善旅行も盛大であった。あまり苦労がなかったせいか、結局Ⅱ期4年間務めることになってしまった。

振り返ると、会の躍進期であり、よき時代だったと思われます。

特に面白いエピソードもなくして申し訳ありませんが、終わりに個人的なお願いをして締めくくりにしたい。

実は、元所長中川俊一郎さんの「書いたもの」を集めています。お前がどうしてといわれると困るのですが、小生 本社・馬電の二場所で部下であったこと、年齢は20歳以上も離れていて、特に親密でもなかったのですが、中川さんはいわゆる筆がたつ方で、本社当時から知られていました。生誕100年を迎えられこともあり、思いたったしだいです。

社内報(馬電「菱風」・システムサービス)、社外雑誌発表のものはあるていど収集できましたが、まだ不十分です。皆さんが、もしなにかお持ちのものがあれば・書籍・写真・書簡・その他なんでも結構ですので、是非拝借したい。ご連絡お待ちしております。

- [連絡先]
1. 電話 0276-52-2329
 2. 下名 菱の実会パソコンサークルの例会へはほとんど出席しています。

【 馬電ふれあいフェスティバル 】

恒例の馬電フェスティバルが、10月8日(土)馬電構内で実施されました。

絶好の秋晴れに恵まれ、「テツ and トモ」「ものまねタレントしのぶちゃん」が祭りに花を添えてくれ、大盛況でした。



【 がんばりました 】

神谷昭美さんが、示現会展奨励賞に続いて、ついに悲願の「日展入選」を果されました。

作品名 : ポーズの合間

43 回日展 (平成 23 年度) 展覧会のご案内
会期 2011 年 10 月 28 日(金) ~ 12 月 4 日(日)

【休館日】 毎週火曜日

【観覧時間】 10:00~18:00(入場 17:30 まで)

11 月 12 日(土)は「日展の日」入場無料。

会場 国立新美術館 東京都港区六本木

【交通】千代田線「乃木坂駅」6 番口直結、日比谷線「六本木駅」4a 口より徒歩 5 分、

都営大江戸線「六本木駅」7 番口より徒歩 4 分

入場料 一般 1,200 円 高・大学生 700 円